

第360回  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
《プログラム抄録》

日時：平成23年12月10日（土）午後4時00分  
会場：新潟グランドホテル 4階 『メイプル』  
新潟市中央区上大川前通3ノ町 025-228-6111

次回 第361回新潟地方会予告

日時：平成24年3月10日（土）午後3時

会場：未定

演題申込期限：平成24年2月17日（金）

すべてPCのみの発表とさせていただきます。

口演時間は、7分。討論3分（時間厳守）

「第78回日本泌尿器科学会東部総会」が新潟で開催決定。

期日：2013年10月17日（木）～19日（土）

会場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

951-8510 新潟市中央区旭町通1の757

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野

日本泌尿器科学会新潟地方会

TEL：025（227）2289 / FAX：025（227）0784

会長 高橋 公太

### 1. ペットボトルによる陰茎絞扼症の1例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科  
山崎裕幸, 新井 啓, 谷川俊貴, 原 昇, 高橋公太

症例は74歳の男性。飲酒後、切り取ったペットボトルの口に陰茎を挿入したところ抜けなくなり、受傷10時間後に当科を緊急受診した。絞扼物の切断にはKワイヤーカッターを用いた。経過は基質的、機能的ともに良好であった。絞扼物と適した除去方法・器具の選定につき文献的考察を付加する。

### 2. 抗癌剤膀胱注入療法でアナフィラキシー反応を起こした症例

新潟県立中央病院 泌尿器科 池田正博、水澤隆樹、片桐明善

膀胱療法後にアナフィラキシーショックを引き起こした症例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。症例は78歳男性、1993年にTUR-BTを施行。以後、膀胱癌再発に対して、TUR-BT+術後膀胱療法で加療された。2000年1月のTUR-BTの際、MMC膀胱後に蕁麻疹が出現し、MMCによるものと診断された。その後、MMCは禁忌薬として使用しなかった。2011年5月TUR-BT施行、THP膀胱直後より皮膚の発赤、血圧低下あり、アナフィラキシーショックとなり、エピネフリンやステロイドでの加療が必要であった。

### 3. 腫瘍性骨軟化症を呈した再燃前立腺癌の2例

長岡赤十字病院 泌尿器科<sup>1)</sup> 内科<sup>2)</sup>  
安楽 力<sup>1)</sup> 山崎 肇<sup>2)</sup> 鈴木一也<sup>1)</sup> 米山健志<sup>1)</sup> 森下英夫<sup>1)</sup>

腫瘍性骨軟化症(TIO)は腎のリン再吸収障害による低リン血症を特徴とする腫瘍随伴症候群の一つであり、腫瘍から過剰産生されるFGF23によって惹起される。今回、前立腺癌の再燃に伴いTIOを発症した2例を経験したので考察を加えて報告する。

### 4. Port-site strangulation hernia の1例

済生会三条病院泌尿器科 金子公亮、渡辺竜助、郷 秀人

症例は75歳男性。近医より紹介された径12cmの左腎癌に対し、経腹膜アプローチにて鏡視下腎摘除術を施行した。術後4日目に、腹痛・嘔吐あり、CTにて絞扼性イレウスを合併したport-site herniaを確認。同日、小腸部分切除術とヘルニア修復術を施行し、無事退院を迎えることができた。当院でも稀なport-site herniaを経験したので、若干の考察を加えて報告する。

### 5. 当院での前立腺癌I-125密封小線源永久挿入療法の初期47例の検討

県立がんセンター泌尿器科<sup>1)</sup>、放射線治療科<sup>2)</sup>、病理部<sup>3)</sup>  
田所 央, 小林和博, 斎藤俊弘, 北村康男<sup>1)</sup>、  
太田 篤, 松本康男, 杉田 公<sup>2)</sup>、川崎 隆<sup>3)</sup>

【目的】2009年3月から当院で前立腺癌密封小線源療法が開始されて2年8カ月が経過するので治療成績につき報告する。【対象】2009年3月～2011年11月まで当科でブラキ療法を施行した47例。年齢56～75歳(中央値69歳), UICC TNM分類 T1c45人, T2a2人。【結果】重篤な有害事象を生じた症例やPSA failureを生じた症例は現時点で見られなかった。【考察】治療効果判定のためには長期経過観察が必要と思われる。

16:50～17:40

座長 米山健志

## 6. UCSF-CAPRA (University of California, San Francisco, Cancer of the Prostate Risk Assessment) リスク分類は日本人の前立腺全摘症例に対しても適応可能か？

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野<sup>1)</sup>、県立がんセンター病理部<sup>2)</sup>、  
県立がんセンター泌尿器科<sup>3)</sup>、新潟大学医歯学総合病院医療情報部<sup>4)</sup>  
石崎文雄<sup>1)</sup>、西山 勉<sup>1)</sup>、川崎 隆<sup>2)</sup>、斎藤俊弘<sup>3)</sup>、北村康男<sup>3)</sup>、  
アミヌール ホク<sup>4)</sup>、笠原 隆<sup>1)</sup>、原 昇<sup>1)</sup>、谷川俊貴<sup>1)</sup>、  
赤澤宏平<sup>4)</sup>、高橋公太<sup>1)</sup>

【目的】2005年にUCSFのグループはUCSF-CAPRAスコアを提唱し、その有用性を報告した。日本人での前立腺全摘症例を用いてCAPRAリスク分類の検証を行った。【方法】根治的前立腺全摘術を行った211例を対象とした。全ての症例のグリソンスコアは単独泌尿器病理医により再評価を行った。concordance-index (c-index)を算出するとともに、PSA非再発率はKaplan-Meier法を用いて検討した。【結果】low risk: 85例、intermediate risk: 108例、high risk: 18例であった。PSA非再発率において各リスク間に有意差を認めた。c-indexは0.755であった。【結論】CAPRAリスク分類は日本人の前立腺全摘症例でも適応可能であると考えられた。

## 7. 小児原発性VURに対するDeflux注入療法の短期成績

新潟市民病院泌尿器科 筒井寿基、今井智之、川上芳明

当科では小児VURに対するDeflux注入療法をIV度以下の原発性VURを対象として平成23年3月より開始した。4例7尿管に対して、注入(STING法7尿管、Double HIT法1尿管)を行い、術後3ヶ月目のVCUGでは6尿管で逆流の消失を認めた。本来は治療の適応にならないI度のVURに対するSTING法の1尿管で、注入手技の問題のためか逆流の残存を認めた。術後3ヶ月でのVUR消失率は全体で85.7%であった。

## 8. Ho-YAGレーザーを使用したTUL

新潟医療センター<sup>1)</sup>、ささがわ腎泌尿器科クリニック<sup>2)</sup>

木村元彦<sup>1)</sup>、志村尚宣<sup>1)</sup>、笹川 亨<sup>2)</sup>

2010年2月から2011年9月までの1年7ヶ月に、Ho-YAGレーザーを使用したTULを95例に行った。前治療としてESWLを行ったものは16例(17%)のみで、dyeレーザー時代(60%)に比べ激減した。尿管損傷は1例もなく、6例で術後38度以上の発熱を来した。「完全排石」は83例(89%)で、dyeレーザー

の TUL(89%)と同等の成績であったが、ESWL 単回(56%)や複数回許容(79%)での成績を大きく上回った。

#### 9. 分子標的薬 era に当院でインターロイキン 2+インターフェロン +UFT (IAT) 療法を行った進行性腎癌症例の検討

新潟市民<sup>1)</sup>、山形大学・IAT 療法第 II 相試験代表<sup>2)</sup>  
今井智之、川上芳明、筒井寿基<sup>1)</sup>、富田善彦<sup>2)</sup>

近年進行性腎癌に分子標的薬が使用できるようになり、これまでの免疫療法の位置づけが難しくなっている中で、腎細胞癌肺転移の 3 症例に IL-2+IFN +UFT (IAT) 療法を行った。症例 1 は 60 歳女性、症例 2 は 70 歳女性で、それぞれ 6 コース後の 2010 年 9 月、2011 年 1 月に肺切除術をおこない、現在癌なし生存している。症例 3 は 70 歳男性で術前にリンパ節腫大指摘。腎門部リンパ節陰性の結果から肺転移のみと判断して IAT 療法を行ったが増悪し、分子標的薬に変更したものの術後 1 年 4 ヶ月で死亡した。発育が遅く、肺転移が主の腎癌症例には、分子標的薬に比べ副作用が少なく CR の期待もある IAT を選択し、癌の進行がないのを確認して手術で根治を目指すのもよいと考えられた。

#### 10. 育児支援制度と現状について

少子高齢化を緩和するため、様々な子育て支援の政策が導入されています。当院には約 700 名の看護師がおりますが、産前産後及び育児休暇を合わせて約 50 名が休暇に入っております。加えて約 20 名が育児短時間労働制度を活用しています。これ自体は望ましいことですが、夜勤勤務者の確保が難しくなり、その対策に苦慮している状態です。これは若い女性が多い職場では避けられない傾向にあり、また看護師に限らず事務系。検査技師、薬剤師、医師などにも及ぶと考えております。

長岡赤十字病院 院長 森下英夫

新潟泌尿器科同窓会総会  
17:40～18:10  
[ 会場 4階 メイプル ]

新潟地方会・同窓会合同懇親会を総会終了後 3 階「悠久の間」で行います。

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい。